

- 10月11日(日) 町会役員会
- 10月25日(日) 防災訓練(防災体験ツアー)

会員の皆様のお力添えもあり、旭だよりの発行は今号で100号を迎えることができました。

つたない内容で、ご迷惑をおかけしたり、十分な情報をお伝えすることが出来ませんでした。ここまで来られたことに感謝いたします。
広報担当

京一旭町会ホームページ <http://kyoichiasahi.jp/>



発行：京一旭町会

会長 渡辺 伸一

編集：京一旭町会 広報担当

旭だより100号に寄せて

広報誌「旭だより」第100号の刊行、おめでとうございます。

平成15年11月の創刊以来、時代の変化に即応して、編集・発行に携わってこられた歴代の会長をはじめ役員の皆様、広報担当の方々の御努力に敬意を表します。

また、会員の皆様には、日頃から区政の伸展に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、貴町会をはじめとする曳舟駅周辺地区は、再開発事業及び5年前の京成押上線立体化の実現などにより、街の安全性・利便性が高まり、著しい発展を遂げています。

街の景観は大きく変わりましたが、当町会設立以降70年近く、地域の皆様の“まち”を愛する心は連綿と受け継がれています。今後も、「旭だより」が末永く愛読され、会員相互の円滑なコミュニケーションが一層深まり、町会活動のさらなる活性化が図られることを期待します。

結びに、京一旭町会の益々の御発展と会員の皆様の御健勝を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

墨田区長
山本 亨様

京一旭町会顧問
清水三郎様



京一旭町会会長
渡辺伸一

旭だよりは2003年に始まり、100号になりました。これもひとえに、町会会員の皆様の心温まるご支援の賜物と心から感謝申し上げます。

元は一丁目5番イトーヨーカドーの場所に町会会館がありましたが、曳舟駅前開発の為に買収され、当時は800余の世帯でしたが現在は600余の世帯となりました。

この町会会館は12月に京島西公園の隣に完成予定です。新型コロナウイルスの影響も受けず、又防災・防犯対策など、役員の皆様の努力に深く感謝申し上げます。

これからも町会発展を心から応援致します。

「旭だより」創刊100号おめでとうございます。

17年の間、町会内の行事や様々な事柄を四季にあわせ、発行して参りました。

ひとえにこれまで携わってくださった方々のご尽力の賜物と大変感謝しております。

今後も行事予定など皆様にお知らせし「住みよい町づくり」を目標に努めてまいります。

コロナ過、皆様には不自由な生活が続きますが健康にご留意し、これからも皆様のご支援を賜りますよう、心からお願い申し上げます。

《わが街》 寺島町→京島&京一旭町会の今昔

(参考資料)

墨田区発行「墨田区史」

①応永5年(1398年)の「下総の国葛西御厨注文」の38郷の中に「寺島」名があり、総田数が86町となっているところから、この下総の国寺島郷が江戸時代を通じて葛西領寺島村と称され、その後の寺島町一円となったと考えられます。

※御厨(みくりや)は神社所属の領地で、古代荘園の一種。

②永禄2年(1559年)北条氏康が「小田原衆所領役帳」を完成して、鎖国体制を確立しますが、その中に葛西寺島・葛西小村井・江戸牛島4か村・葛西木下川などの地名があります。

寺島の地名は蓮花寺(寺島町1-168・東向島3-23)の起立とする説と、法泉寺(寺島町1-224・東向島3-8)の創建に由来するとの説がありますが、蓮花寺の建立は弘安3年(1280年)であるともいわれ、「寺伝」によると北条経時の子頼助法印が弘長元年(1261年)に蓮花寺を鎌倉の佐介谷から引き移し、自ら中興開山となり土地の名前を「寺島」と称したとされています。また、村内が大部分寺領であったため、寺島の名称が起こったともいわれています。

③明治22年5月1日から町村の地名変更が施行され、東京府南葛飾郡寺島村が誕生し、同時に南葛飾郡吾嬭村が誕生しました。

寺島村の初代村長は「小島重兵衛さん」で、明治22年4月に就任しています。

大正12年(1923年)の町制施行で寺島村から寺島町になり、昭和7年(1932年)吾嬭・寺島・隅田の3町で向島区が成立。昭和18年(1943年)に東京都が発足し、昭和22年(1947年)に本所区・向島区が合併して墨田区が誕生しました。

④「町会」の歴史は古く、江戸時代の5人組制度からはじまり、(年貢納入手段としての)相互扶助の側面もありましたが、見張りや共同責任が主な目的でした。

当町会前身である「旭町会」の事務所は、昭和8年10月1日に寺島町4-55(京島1-6・現アトラスタワー辺り)にあり、代表者は「田原徳次郎さん」でした。

(右上ノへ)

◎間違い等がありましたら、広報担当へお教えてください。

翌年の昭和9年4月には、曳舟小学校が「向島曳舟尋常小学校」として開校しました。

昭和28年から29年10月にかけて設立された57の町会に「寺四旭町会(寺島四丁目北部)」と「寺四東町会(寺島四丁目南部)」がありました。戦前には旭町会は寺島四丁目全域にわたっていましたが、その後3つに分かれ、私たちの地域は「旭町会」として再建されました。

⑤当町会は昭和29年9月30日に、旧大河原医院斜め前にあった伊勢元2階広間(旧三光信用金庫本店・現ダイアパレス京島)で「寺四旭町会」の設立総会を行いました。初代会長には金井仙次郎さんが選出されました。

なお、この広間には、当時としては珍しい大型のテレビが置いてあり、大相撲やプロレス等を見せていました。(但し有料で、相撲の仕切りの合間にドタンボタンと遊び、叱られました。)

⑥昭和39年より始まった住居表示制度実施(住居制度変更)により旧寺島四丁目・吾嬭西一丁目・吾嬭西四丁目の一部が合併し、京島一丁目～京島三丁目になりました。

この頃に「京一旭町会」の名称になったと思われる。

⑦「京島」の名称は、当時の地元の話し合いにより、町名称はどちらの旧称も採らないことになり、新生の町として、さらに発展を期して、大きい、盛んの語彙を持つ「京」と旧向島区の「島」を組み合わせて「京島」となりました。なお、この話し合いでは曳舟・立花・押上の案もあったようですが合意にいたらず、これにより560年余の寺島の地名が消えました。

町名に「旭」を付けた理由については、旭日には朝日が昇る勢いがあるという意味があるので『勢いのある、発展する町会』になるように名付けたようだ、と、以前、町内の長老の方に教えていただいたことがあります。が、真意については、その当時の関係者が存命されていないこともあり、定かではありません。

⑧また、以前は町内に馬車を使った運送業者が数件あった関係なのか「馬頭観音(イーストコア曳舟に現存)」があり、周辺には「鶴土手橋」・「三角池」・「と畜場」もありました。